

令和4年度 第1回大谷小学校学校運営協議会 会議録

1 日 時 令和4年5月13日(金) 9:00~10:00

2 場 所 大谷小学校 校長室

3 出席者 石井正雄 藤澤ゆかり 桐生行雄 今別府淳子
(敬称略) 春山茂樹 島仲京子

4 内 容

○委嘱状交付

(1) 学校教育目標について

春山校長：「深い学び」に重点的に取り組み、学習指導を充実し、確かな学力の定着と向上を図る。具体的には学習する姿勢に目を向け、子どもたちの「なぜだろう？」を引き出す状況を作りたい。教科書の内容だけではなく、身近な疑問を自分で調べる自主的な態度の育成を図っていく。朝会では「ツツジとサツキの違い」や「鉛筆はなぜ六角形なのか」などの話をした。

桐生委員：社会の中では「生きる力」が必要で、重点としてはよいと思う。意識づけのためには先生たちの普段の言葉かけ等、日常的な取り組みが大事だ。

春山校長：これからも定期的に投げかけていきたい。

桐生委員：家庭に投げかけることも大事だ。

春山校長：家庭にもつなげていきたい。

今別府委員：ipadの活用も考えられる。

桐生委員：総合的な学習の時間でグループ学習することも学びの深まりにつながるだろう。

藤澤委員：大事なのは自分で調べること。情報の扱いについても考えるといい。人とのつながりも大事にしたい。えびなっ子スクールも有効につなげたい。

春山校長：この地域は商店街が並び、大谷歌舞伎やおはやし、ささらおどりなど伝統文化もあり地域素材に恵まれている。今コロナで中断しているが、地域とのつながりも再開していきたい。

(2) 年間予定について

春山校長：修学旅行や野外教育活動等は対策を取りながらできるだけ行く方向で考えている。運動会も昨年度は学年を分散して行ったが、今年は午前中に全学年揃って行う予定。他学年の演技を間近で見るとは大事だ。大谷っ子ま

つりもどのような形で行うか検討をしていく。

桐生委員：昨年度も修学旅行をあきらめず行く方向で取り組んでもらってよかった。子どもの声を大事にしていきたい。修学旅行に連れていきたいという校長先生や、担任の先生方の気持ちが子どもにも伝わっていた。

藤澤委員：運動会で上級生の演技を見て、下級生があこがれて次は自分たちがやるという気持ちにつながる。卒業式も5年生と6年生の合唱の掛け合いなど活動を通して引き継いでいくものがある。

春山校長：中止にしていくとつながりが途絶えてしまうことがある。今年は感染の状況を見つつ、対策を取りながら行事を再開していく。

(3) 次回の日程について

春山校長：次回は11月10日(木)音楽発表会の参観を含む

桐生委員：都合が悪く欠席。

音楽発表会を楽しみにしており、とても残念だ。

昨年はボディパーカッションで、感染対策を取りつつ工夫を凝らした演目でとてもよかった。

(3) その他

桐生委員：通学路の変更については、その後どのような状況か。

春山校長：特に問題なく、安全に登校している。

今別府委員：地域の人子どもたちの登下校を見守ってくれている。交通安全を喚起する「おおやくん」の表示もよい。